

佐藤まさたか 市政レポート



第95号

2022年10月25日発行

【発行】ちゃんと変えよう!東村山

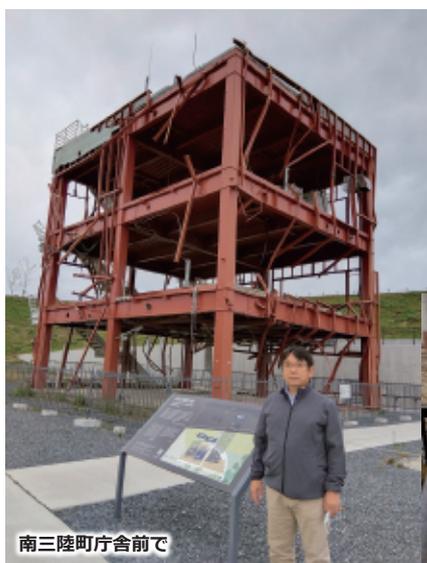
「議会改革」と「震災からの復興」を テーマにした議員研修会に参加 10年ぶりに東北を 訪ねました

●9月議会の閉会直後、岩手県の東南端にある陸前高田市で開かれた「議会改革」と「震災からの復興」をテーマにした議員研修会に参加してきました。東北を訪ねるのは震災のボランティアに入って以来10年ぶり。この2年半はオンラインでの開催が続いたので、顔を合わせた本格的な勉強会も久しぶりで、全国から意欲ある議員が集いました。

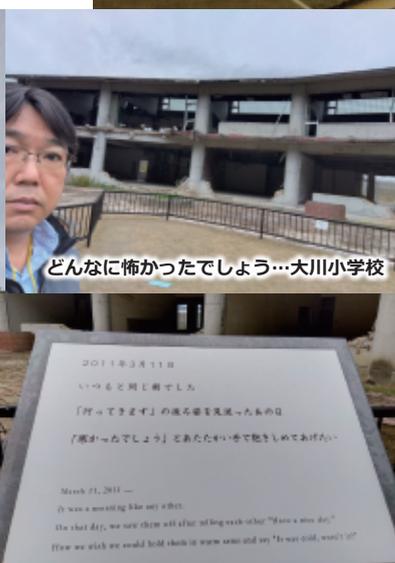
●初日は、市民に開かれ信頼される議会づくりが全国的に名高い、地方議会の実践報告と討議。2日目は津波で市街地の殆どを流され、多くの方が亡くなった現場や「奇跡の一本松」の前に立ち、陸前高田の市議会議長やまちづくり担当者から、11年間の取組みの裏側をじっくりと伺いました。長いお付き合いの陸前高田市・福田議長や福島県会津若松市・目黒元議長、岐阜県可児市・川上元議長、熊本県山鹿市・服部香代議長らとの再会の中で、大いに学び合い、語り合ってきました。志高く新たな挑戦を続ける方たちとの繋がりが、私自身を成長させてくれる原動力となっています。

●2日目の帰路には、友人の愛知県大府市議と共に宮城県内の震災遺構「南三陸町の防災対策庁舎」と「石巻市立大川小学校」を訪ねました。最後まで防災無線で避難を呼びかけた町職員さんらが犠牲になった庁舎前では、屋上を超えて全てを呑み込んだ大津波の脅威に言葉を失い、74人の子どもと10人の先生が犠牲となり、破壊し尽くされ骨組みが剥き出しになっている校舎前では、涙が溢れてきました。いずれも無言の遺構だけが佇み、周りにあったはずの人々の生活の痕跡は何も残っていません。

●私たちの東村山は津波の心配はありませんが、想定を超える自然災害のリスクは高まっています。その時への備えを地域みんなで進めると共に、備えを尽くしても惨禍が現実となった時、市役所、市議会はどう動くべきなのか。政治的立場を超えて考え合い、計画を立てて訓練しておかなければならないと改めて感じました。自分自身の課題として取り組みます。



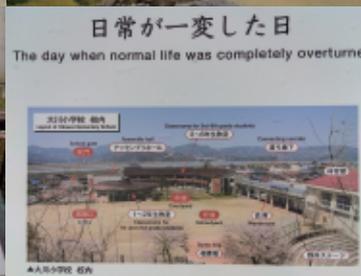
南三陸町庁舎前で



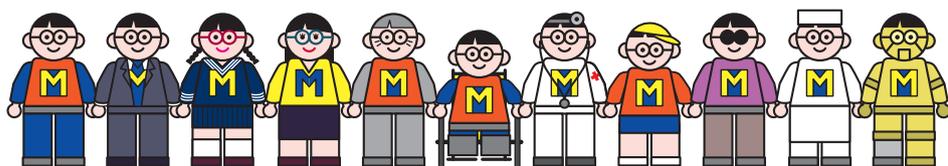
どんなに怖かったでしょう...大川小学校



震災遺構となった奇跡の一本松と
陸前高田ユースホステル



石巻市立大川小学校の
現在の様子



超党派
無所属

佐藤まさたか

初当選から20年目。ただ一人、政党や特定団体の
支援を一切受けない完全無所属の市議會議員

9月定例議会レポート

9月議会での一般質問の様子は、こちらの市議会HPから録画配信がご覧いただけます



9月議会では、昨年度の決算をすべて認定した他、高校生世代に対する医療費助成条例を新たに成立(来年度施行)させ、経済支援やコロナ対策を中心とした補正予算を可決しました。

▶2年前に聴覚障害の方からの相談で紹介議員を務めた「新しい東村山駅にホームドアを設置するよう市と西武鉄道に要望し実現に努力することを求める請願」が全会一致で採択されたことを受け、市長部局が西武鉄道と交渉を続けて来られましたが、この夏に設置への合意に至り、今回の補正予算に必要経費が計上されました。今後も誰もが安心して利用できる駅やその周辺の整備が進むよう力を尽くしてまいります。

▶高校生等医療費助成条例は、東京都の制度開始に合わせて急ぎよ制定しましたが、就学児への同様に所得制限を設けています。しかし、23区だけでなく多摩地区でも撤廃を決めた自治体が増えています。東村山市も、懸命に働きながら子育てし、しっかり納税いただいている方たちの納得を得られる政策に切り替えていくべきと考えています。以下、当日の私の発言です。『新しい制度を速やかにスタートさせたい

という趣旨を尊重し、本条例制定に賛成します。生まれてから18歳まで切れ目のない医療費助成制度が叶うものであり、子どもたちが家庭の経済面を心配することなく安心して受診できるようになることは喜ばしいことです。当事者である高校生世代がこれは自分のことなのだとわかる周知も、ぜひとも丁寧をお願いしたい。

その上で、本制度は福祉政策なので所得制限は妥当だと答弁がありました。義務教育就学児から高校生世代まで制限を撤廃した場合に必要な市独自の負担約3,200万円をどう考えるのか。担税力ある子育て世代に選ばれる自治体になるための必須条件の一つになりつつあることを、重く受け止めなければなりません。

国としての問題、と言いますが、地方自治体から変えていく覚悟が求められており、早急に庁内議論の俎上に乗せ、政治的な判断も不可欠だと思います。ぜひ大きく一歩を踏み出していただきたい。実現に必要な恒久的な財源をどこから捻出すべきなのかについては、私たち議会の責任も極めて重いので、自分事として考えていくことをお約束して討論とします。』

3か月ごとに開催を続けてます 東村山市議会「議会報告会」

今回は **11月20日(日) 9:45~11:30**

市民センターにお越しいただくか、オンラインで参加するか お選びください

議員個人だけでなく、市議会全体として、日頃から市民の皆さんに説明責任を果たし、率直なご意見を伺う必要性を提起し、2014年5月から3か月ごとに開催している公務です。今回は、「決算審査を中心とした9月議会の報告をした後、「税金のつかいみち」についてご参加の皆さまのご考えを議会として伺うプログラム。現在鋭意準備中です。ぜひぜひご都合つけていらしてください。お待ちしております！

12月議会は 11月29日に開会

議案や陳情は11月22日に明らかになります。「まさたかミーティング」で詳しくお伝えしますので、ぜひお気軽にお出かけください。



2015・2016・2018
マニフェスト大賞
受賞

佐藤まさたか

1963(昭和38)年日野市生まれ/慶應義塾大学経済学部卒/社会教育、野外教育、保育、学童クラブ等、子どもの現場を中心に勤務後、政党や団体に属さない完全な無所属として5期目の東村山市議会議員/現・政策総務委員会委員、広報広聴委員会副委員長/全国の優れた政策実践に対して贈られる「マニフェスト大賞」を、4年間で3回受賞

市政や議会へのご意見、ご相談など、どうぞお気軽に

FacebookやTwitter、ブログから発信中。「佐藤まさたか」で検索してみてください!

メールアドレス: gachapin@sato-masataka.net

東村山市廻田町2-21-13 TEL. 042-398-5265



佐藤まさたか
活動報告&
意見交換会

まさたか
ミーティングに
お出かけください!

誰でも参加いただける
オープンな場です

「市議会議員・佐藤まさたか」として、誰でもご参加いただける情報&意見交換の場を19年間続けています。今回は、9月議会の報告を中心に10月末に3回、12月議会の議案や陳情等の直前情報が届き次第、11月末に3回開催します。市政や市議会のあんなことこんなことにも率直にお答えしています。私をご支持いただくかどうかに関係なく、どうぞお気軽にご参加ください。

※公民館や市民センターへは直接お越しください。オンラインはZoomアドレスをお送りしますのでメールでご連絡ください。

10月の まさたかミーティング

- ① 朝まさたか@廻田公民館
10月29日(土)10時~11時半
- ② 午後まさたか@市民センター
10月29日(土)14時~15時半
- ③ 夜まさたか@オンライン
10月29日(土)20時~21時半
ご連絡いただければ、Zoomアドレスをお送りします

11月の まさたかミーティング

- ① 午後まさたか@市民センター
11月26日(土)14時~15時半
- ② 夜まさたか@オンライン
11月26日(土)20時~21時半
ご連絡いただければ、Zoomアドレスをお送りします
- ③ 朝まさたか@廻田公民館
11月27日(日)10時~11時半

声を聴き、足を運び、市政充実と議会改革に取り組んでいます